



【算数の授業研究に取り組んでいます！】

研究主題 深い学びの実現に向けた算数科教育の在り方
 ～子どもの意識の流れに沿った「学び合い」の場の設定と支援の在り方～

本校では、令和3年度から上記研究主題のもと、算数の授業研究に取り組んでいます。子どもたちが算数を少しでも好きになること、学ぶ楽しさを味わい自ら学ぶ子どもを育てること、学力をのばすことを目指しています。県の算数教育を牽引している講師先生陣からも、ご指導ご助言を受けながら、5月から6回授業研究会を行いました。今回は、その中から、4つの授業を紹介します。

【4年 折れ線グラフ】 気温の変化とアイスクリームの売り上げの関係を調べよう。

気温の折れ線グラフ、アイスクリームの折れ線グラフを重ね、データを読み取る力をつけました。



【3年 長さ】 (大元神社までの) 2つのルートのどちらが学校から近いか考えよう。

総合で歩いた実感も元に予想。地図から長さを読み取り長さの計算をしてどちらが近いか考えました。



【1年 いろいろなかたち】 かたちのいいところをよくみて、わけかたをかんがえよう。

筒の形、ボールの形、箱の形を、実際のもに触れながら、その特徴ごとに仲間分けをしました。



【5年 比例】 ○人分の米を準備しよう。

家庭科の調理実習の米について、比例の関係を使って、一人分から人数分の量を求めました。



ただ教科書をなぞるのではなく、少しでも子どもたちが実感をもって学べるように、他教科等や身近な生活と関連づけて、算数の学習を進めています。どの学年でも、子どもたちがよく考えて自分の意見を言い、友達の意見もよく聞いて、積極的に学ぶ様子が見られ、うれしい限りです。教員たちの授業研究会でも、活発な意見交換をして教員自身の授業力向上につなげています。算数だけでなく、日々の全ての授業が、子どもたちにとって、わかる授業、できる実感のある授業になるよう、日々努力を重ねていきたいと思ひます。